

聖書 マタイによる福音書 1章18節～25節

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。
母マリヤはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。
夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。
このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず 妻マリヤを迎え入れなさい。
マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名づけなさい。
この子は、自分の民を罪から救うからである」。
このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。
「見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる」。
この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。
ヨセフは眠りからさめると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れ、男の子が生まれるまでマリヤと関係することはなかった。
そして、その子をイエスと名づけた。



252 教会暦 降誕・クリスマス 羊はねむれり [1119]

詞：三輪源道、1871-1946 曲：鳥居忠五郎、1898-1958 KOPIN

ひつじは ねむれり くさーの とこに、
さえゆく ふゆの よしも みえーつ。
はるかに ひびくは かぜーか、 みずか、
いなとよ、 みつかい うたう みうた。
アーメン。

- 1. 羊はねむれり 草の床に、
冴えゆく冬の夜 霜もみえつ。
はるかにひびくは 風か、水か
否とよ、みつかい うたうみうた。
- 2. まひるにおとらぬ くすしきひかり、
み空のかなたに てりかがやく。
すくいをもたらす 神の御子の
うまれしよろこび 告ぐる星か。
- 3. 「あめにはみさかえ 神にあれや、
つちにはおだやか 人にあれ」と。
むかしのしらべを 今にかえし、
うたえや、友らよ、こえもたかく。



258 教会暦 降誕・クリスマス まきびとひつじを [1103]

The first Nowell the angel did say 曲：イギリス・キャロル、18世紀 THE FIRST NOWELL 曲：イギリス・キャロル、17世紀

まきびと ひつじを
はじめて
みまもる そのよる、
ノエルを つたえた。
(くりかえし)
ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、
主イエスは うまれ た。

- 1. まきびとひつじを 見守るその夜
はじめて天使は ノエルを伝えた
(くりかえし)
エル、ノエル、ノエル、ノエル
主イエスは生まれた。
- 2. 神の子主イエスは まずしい姿で
この世に来られて まぶねに生まれた
- 3. 博士は輝くその星たよりに
はるばるまぶねの 主イエスを訪ねた。
- 4. 喜びあふれて 東の博士は
主イエスを拝んで 宝をささげた
- 5. われらもこよいは 歌声合わせて
平和をもたらす 主イエスをたたえよう。

255 教会暦 降誕・クリスマス 生けるものすべて [1100]

Envy not the riches of the world 曲：フランス・キャロル、17世紀 PICARDY 詞：聖ヤコブ書

生けるものすべて おそれて静まり、
世の思ひ棄てて、みめぐみを思え。
神の子は 生まれたもう、
ひとの姿にて。
主の主にいませど マリアより生まれ
うまぶねの中に、うぶごえをあげて、
そのみからだ 与えたもう
つみびとのために。
としへの光 暗き世を照らし、
闇に住む民の 上に輝けり。
陰府のちから やぶるため、
み子はきたりたもう。
絶え間なき賛美 み使いはうたう、
「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主」。
いざ、われらも、ほめうたわん、
「ハレルヤ、ハレルヤ」。

- 1. 生けるものすべて おそれて静まり、
世の思ひ棄てて、みめぐみを思え。
神の子は 生まれたもう、
ひとの姿にて。
- 2. 主の主にいませど マリアより生まれ
うまぶねの中に、うぶごえをあげて、
そのみからだ 与えたもう
つみびとのために。
- 3. としへの光 暗き世を照らし、
闇に住む民の 上に輝けり。
陰府のちから やぶるため、
み子はきたりたもう。
- 4. 絶え間なき賛美 み使いはうたう、
「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主」。
いざ、われらも、ほめうたわん、
「ハレルヤ、ハレルヤ」。



260

教会暦 降誕・クリスマス
いざ歌え、いざ祝え

[1108]

O du Tröster
詞：Johannes D. Falk, 1768-1826, Heinrich Holzschuer, 1798-1847

SICILIAN MARINERS
曲：シチリア民謡、18世紀

- いざ歌え、いざ祝え
このめぐみの時、
救い主 あられぬ
喜べ、主にある民よ。
- いざ歌え、いざ祝え
このめぐみの時、
悪しき世は くだかれぬ、
喜べ、主にある民よ。
- いざ歌え、いざ祝え、
このめぐみの時、
天使たちと 声合わせ
喜べ、主にある民よ。



261

教会暦 降誕・クリスマス
もろびとこぞりて

[1112]

Hark the glad sound! the Savior comes
詞：Philip Doddridge, 1702-1751

A. JCH
曲：Georg F. Händel, 1685-1759

- もろびとこぞりて いざ、むかえよ。
久しく待ちにし 主は来ませり
主は来ませり、主は、主は来ませり。
- 悪魔の力を うちくだきて
捕虜を放つと 主は来ませり
主は来ませり、主は、主は来ませり。
- この世の闇路を 照らしたもう、
光の君なる 主は来ませり、
主は来ませり、主は、主は来ませり。
- 平和の君なる み子をむかえ、
われらの救いと ほめたたえよ、
主は来ませり、主は、主は来ませり。



263

教会暦 降誕・クリスマス
あら野のはてに

[1106]

Les anges dans nos campagnes
詞：フランス・キャロル、18世紀

IRIS (GLORIA)
曲：フランス・キャロル、18世紀

- あら野のはてに 夕日は落ちて
ためなるしらべ 天よりひびく
(くりかえし)
グロリア イネクセルシスデオ
グロリア イネクセルシスデオ
- ひつじをまもる 野べのまきびと、
あめなるうたを よろこびききぬ。
- みうたをききて ひつじかいらは
まぶねにふせる 御子をおがみぬ。
- 今日しも御子は 生まれたまいぬ
世界の民よ、よろこびうたえ。

宮城学院同窓会
いわき支部
クリスマス会プログラム

2011年12月10日(土)
於 緑蔭茶房レストラン かいわい

★礼拝——— 司会 斉藤かずこ

前奏 奏楽 伊豆 明美
賛美歌 252番 羊はねむれり
聖書 マタイによる福音書 1章18節～25節
祈り
賛美歌 258番 まきびととひつじを
後奏

★支部長挨拶——— 石原 裕子

★昼食・歓談
賛美歌(255・260・261・263)
ハレルヤコーラス・その他

★ホームページの紹介——— 浅川 キイ

★閉会のことば——— 鈴木 千春